

京交山岳部報

例会予告 (2018年7月～2018年8月)

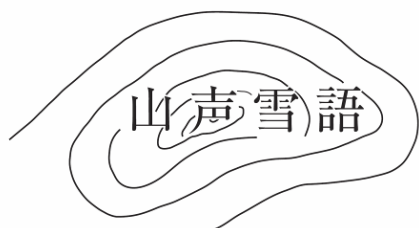
例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2787回 富士山を眺めよう	7月 9日(月) ～12日(木)	吉田 武	テント泊装備, 費用3万円 詳細は参加者で調整
1日目 京都～塩尻～高ボッチ高原キャンプ場・・・高ボッチ山往復(泊) 2日目 高ボッチ高原～岡谷～日向坂峠・・・黒岳(1等△1792.7)往復～河口湖キャンプ場(泊) 3日目 河口湖～富士吉田・・・新倉山(4等△944.2)往復～本栖湖キャンプ場(泊) 4日目 本栖湖～点名「平山」(2等△697.5)～田貫湖～点名「安母山」(2等△513.9)～帰路			
第2788回 夏山大会 燕岳～常念岳～ 蝶ヶ岳	8月 1日(水) ～5日(日) 集合 参加者で 調整	清水康裕 岡本義弘 山下幸宏	山小屋泊, 夏山縦走装備 詳細は参加者で調整
1日目 京都 9:00～16:00 かじかの里公園キャンプ場(泊) 2日目 キャンプ場～中房温泉・・・燕山荘・・・燕岳往復 燕岳荘(泊) 3日目 燕岳荘・・・大天井岳・・・横通岳・・・常念小屋(泊) 4日目 常念小屋・・・常念岳・・・蝶ヶ岳・・・蝶ヶ岳ヒュッテ・・・蝶沢・・・三俣 ～ほりで一ゆ「四季の郷」(泊) 5日目 「四季の郷」～安曇野IC～(中央道・名神)～京都			
第2789回 山の日 君尾山	8月11日(土) ～12日(日) 集合 参加者で 調整	吉田 武 清水康裕	11日 京都縦貫～和知IC～R27 ～光明寺林道～君尾山キャン プ場(泊) 12日 キャンプ場・・・君尾根山 往復～帰路
備考 テント泊の装備。費用3,000円			
7月の集会 日時 7月11日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)		7月の企画運営委員会 日時 7月24日(火) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)	

8月の集會

日時 8月7日(火) 18:30~
場所 holly's café(ホリーズ カフェ)

8月の企画運営委員会

日時 8月20日(月) 18:30~
場所 holly's café(ホリーズ カフェ)



エキストラ

烏丸 山下 幸宏

エキストラ【extra】とは、① 映画・演劇などで、群衆シーンなどに、臨時に雇われる出演者。
② 特別なこと。臨時のもの。特別。という意味であり、今回のお題は前者①の方です。

私は、以前からテレビドラマや映画がどのように出来ているかが知りたくて気になっていた。また、家からは東映や松竹も歩いて行ける距離であり、やっと出ようと決心がついたのでネットで調べた結果、「京都市メディア支援センター」がヒットし、ここに自分のプロフィールを登録(無料)すると、各製作会社から応募案内がメールで知らされる段取りになっている事を知った。応募すると抽選になり、当たると出演出来る権利が得られる。もちろんボランティアであり、給料・交通費も出ない。一日がかりのロケでは、弁当が配給されるだけ。いわゆる「ロケ弁」というものに興味津々であったので、エキストラに応募した。私は、今年2回エキストラに参加し、一回目は時代劇、二回目はドラマであった。特に時代劇の衣装合わせは大変だった。「かつら」がどうも不慣れで違和感がある。また東映には、各衣装係がそれぞれ分担されており、スタッフの方は手際よくさばっていく。その人の体形を観るだけでサイズがわかるらしい。

そしていざ本番に入る前にリハーサルがあり、大道具、小道具、カメラマン等は、助監督であろうか、その指示に従ってすばやく動き、また役者も本番を待つ。助監督が「テープ回ります、本番入ります。本番、本番、本番」と3回大声で連呼する。そしてカチンコが鳴る。この時の緊張感がエキストラの私にもたまらなく、息をするのも忘れるぐらいだ。「カーット」と大きな声で叫び声が聞こえ、シーンが終わるとみなほっとする。現場から数十メートル離れた場所に監督がいて、必死でモニタ画面で確認している。数分待ち、長い時は20分位か、監督からOKが出るとまたほっとし、これが一日中繰り返される。

実際、撮影に参加してみてわかった。各一人ひとりが一丸となり、それぞれの仕事を確実にこなしてゆく。「チームワーク」という言葉が正しいのであろうか、私にはどの言葉が適切なのだろうか分からないが、自分の仕事に例えるならば、やはり「チームワーク」という言葉が適切であると思う。今後、交通局が存続する様、チームの一員である事を忘れず頑張っていきたいと、このエキストラに参加して痛感した。

【第2782回例会】

府民 新緑自然観察会

持続可能な東山をめざして・大文字△から如意ヶ岳の今

自然保護委員 OB 岡田 茂久

※ 観察会は当部からの参加希望者が無く、担当者も所用があり観察会は欠席、観察会の概要のみ自然保護委員会の報告より転写します。

日時 2018年5月20日(日) 9:00~15:05

参加者 一般24名 委員9名 計33名

講師 (公社)日本山岳SC協会認定 自然保護指導員 中島睦美 委員 杉村忠重委員

行先 鹿ヶ谷~大文字山~如意ヶ岳

距離 約9km

【コース時間記録】

霊鑑寺(9:00)~浪切不動尊(9:10)~楼門の滝(9:28-9:53)~俊寛碑(9:59-10:02)~四季・彩の森(10:12-10:51)

大文字山△(11:02-11:09)~雨社の上(11:23)~如意ヶ岳(昼食・12:52-13:02)~大アカガシ(13:26)雨社(13:29)~大文字山(13:47)~火床(14:12-14:25)~八神社(15:00-15:07)

大文字山周辺では先年の台風により大規模に土砂が崩落流出した。高い山も将来は平準化していくので、崩壊は避けられない。それでも人間の生活は必要である。樹木がどんなに人間の文化を守っていることか。持続可能な東山をめざし、自然とうまくつきあう観点が必要。きこりは自然破壊者ではないし、大文字山の火床付近のコンクリート塀、土石流も放置できないので、藤尾のダムも必要かもしれない。持続可能な自然を作り上げていかなければならない。



【第2783回例会】

山岳連盟京都府下一斉清掃登山

自然保護委員 OB岡田茂久

6月3日、環境月間の第一日曜日に慣例の「府下一斉清掃登山」が開催された。今年も西山のGコース高雄~落合間の担当で、昨年と同じ下京山岳会との共同作業である。高雄停留所に9:00集合。下京山岳会は17人、京交山岳部は6人、例年にわたり当部の担当コースに参加してくれる岳連役員と家族2名、それに宇多野から一般参加の女性4名の合計30名の大所帯となった。梅雨のことで例年雨を心配しているが、今年は好天に恵まれ絶好の清掃日和である。



バス停から高雄橋に石段を下りた地点の老舗旅館は廃業し、明るい更地に変貌していた。以前は収集するゴミは、資源ゴミと一般ゴミに分けて収集していたが、長期間放置されていて缶やボトルは、資源ゴミとしての価値はないということで、一つのボランティア用透明袋に入れることになり身軽になった。お陰でコース傍のゴミ



だけでなく、出水で河原の木々に引かった大きなゴミや発泡スチロールの多くも回収する事が出来て、河原も見違えるように美しくなった。

行き交うハイカーからはご苦労様ですとの声をかけてもらいながら、ゴミ第一集積場所の清滝までに9袋を回収した。今年は清滝から落合までは放置ごみと河原のゴミが多く、米買道合流点でも集中的に収集し昼食、ゴミ第二集積場所の落合では21袋もあった。

空也の滝道分岐の高雄寄りにあった倒木も、大きすぎてトレイル委員会のメンバーでは処理できずにいたが、今回、西部土木事務所の堀田さんが同行してくれ、処理の目途が付いたのはうれしいことだった。

【時間記録】

高雄バス停 9:05～清滝 10:50～米買道分岐 (11:50～12:30)～落合 12:40

【京交参加者】 井戸、清水、堀田、鷺見、方山、岡田

【第2784回例会】 H.30.6.10

紀伊 法師山 (1等△1120.2)

OB 井戸澄夫

毎年、この梅雨の時期に大峰や熊野の山に行く。この時期に行く理由は、この日本有数の多雨地域の山の緑を見たいことと、鮎の塩焼きを食べたいということになる。雨で山に登れずとも、宿で温泉に浸かり、天然鮎の塩焼きを賞味できればそれでよしである。今年は1等三角点マニアには著名な法師山に照準を定めた。天気予報では台風接近で梅雨前線が刺激され、10日の午前中までは曇り、午後から雨ということであった。前夜10時に出発、阪和自動車道印南SAで仮眠して、上富田ICから県道37号、相川ダム、国道371号の曲がりくねった細い道を経て、登山口の木守(h-620)に6時に到着した。ここから法師山まではタママツ尾根といい最短のコースである。しばらくは植林帯の中を急登するが、やがてブナ主体の自然林の尾根になる。広葉樹の明るい緑の天井の下を快適に登り、小ピークを3つほど越すと山頂に着く。小ピークから見る法師山は三角形の形の良いやまである。山頂にあったらしい反射板は今は見あたらず、コンクリートの擁壁が南の方を見ていた。山頂には一等三角点が鎮座していたが、曇り空のため眺望はゼロであった。下りで雨がパラパラときたが、雨具を着ることもなく無事に木守登山口に戻った。

宿は日置川に沿って太平洋に出たところにある「リバージュひきがわ」という公共の宿っぽいところに予約した。海岸の眺望がよく、温泉はつるつるの美人の湯、料理は生きあわび、イセエビ、天然鮎の塩焼き、など料金の割りに結構豪華で、来年も行きたくなった。女房も満足していた。白浜から30分ほどのところにある穴場といってよい。帰路は最近開通し、田辺まで無料となっている高速道路を通り、途中の道の駅で南部高梅を大量に購入して帰宅した。十津川路を辿るより所要時間は半分くらいである。梅は蜂蜜に漬けて毎朝の食卓にヨーグルトと共に食べる。

【参加者】 井戸澄夫, 他 1 名

【コースタイム】

6 月 1 0 日 (日)

6:30 木守登山口・・8:30 法師山(休憩)8:50・・10:10 木守登山口



【個人山行】 H. 30. 6. 5

養老山 (859. 3m)

烏丸 山下 幸宏

いつも関ヶ原付近を通る度、自然と伊吹山に目が行く。だが、その向かい側の養老山地の山々も気になっていた。そして前日に 5 日の予定が無いので、どこかの山に登ろうと考えていた結果、養老山に決定した。理由は、養老インターが出来てアクセスが良いので選んだ。

自宅を 6 時前出発、途中先輩の山口さんに乗せ養老滝上駐車場に 8 時過ぎ到着。駐車場の管理人はまだ来ていない。天候は、曇り気味で時折日が差す。平日なので人は少なかった。8:20 出発、林道を少し歩き、川を渡ったところからつづら折れの急登が三方山山頂への分岐地点まで続いた。ここから三方山まですぐであり三方山からは、濃尾平野と木曾三川の流れが一望できた。但し霞んでいたので山々と名古屋駅セントラルタワーは残念ながら見えなかった。ここから歩きやすい登山道となり、眺望の良い小倉山を通過、15 分ほどで展望のない養老山に着く。記念写真を撮り、先ほどの小倉山に戻って昼食。そして笹ヶ岳には行かず往路を戻った。下山後、駐車場管理人の爺さんに 500 円を支払い、養老温泉「ゆせんの里」で汗を流した。そして焼き肉街道と呼ばれる地区の肉屋で飛騨牛を買い込んで、関ヶ原インターから集中工事の為、渋滞しているなかを進みながら帰宅した。

今回の養老山, 里山であるが, なかなかよい山であった。風呂も鉄分と塩分の含有量が多く, 最高の温泉であった。

【参加者】 山下 幸宏 他 1 名

【コースタイム】

自宅 5:50・・8:10 滝上駐車場 8:20・・10:35

養老山 10:40・・11:00 小倉山 11:45・・13:00

滝上駐車場 13:05・・13:25 ゆせんの里 14:50・・15:45

関ヶ原 IC・・17:00 京都東 IC・・17:30 自宅



【個人山行】H.30.6.7

安養寺山 2等三角点 234.0m とササユリ

吉田 武

前日の天気予報では雨のち曇りと報じていたが、目が覚めると青空が出ているので、急いで山に行く支度をする。

栗東 IC から手原駅前を通り安養寺町治田東小学校の近くの栗東自然観察の森に駐車する。

公園管理棟で許可をもらい散策。薄暗い森林公園で散策路や登山道のようにコースが作られていたが、少しコースが分かりにくかった。管理棟の付近にササユリが咲いていたが、まだこれから咲く蕾もあった。

20m~30m 位のアップダウンを繰り返して約1時間程森林の中を歩いた。ササユリや紫陽花が綺麗に咲いていたが、公園の南側に安養寺山があるので登っていけないか地図を見たが、公園からは無理なようなので、駐車場まで引き返して車で登ろうと思ったが、住宅地を過ぎたところでゲートがあるので、仕方なくゲート前に車を置いて歩く。

大きくジグザグに道路が山に向かっているが、尾根まで登ってやっと登山道になった。

送電鉄塔の横から少し登ったら三角点があった。蒸し暑い。

【参加者】他1名



2等三角点



山頂より三上山を望む



山頂の看板



自然観察公園のササユリ

【個人山行】H.30.6.14

千谷山「点名上弓削」 2等三角点 644.7m

吉田 武

先月の中ごろに沢池までドライブして次に来るときは、沢山に登ろうと思っていたので、今日は天気も良いので沢山に登るつもりで家を出た。

R162 梅ヶ畑亀石町を右折して菩提川に沿って走ろうと思ったが、看板に土砂崩れのために通行

止めと書かれてある。仕方なくUターンして R162 を周山まで走り R477 を常照皇寺から井戸峠まで走って峠に車を置き、点名「上弓削」の山に登ることにした。

峠からはテープに導かれて地図の波線を忠実に登って行ったが、途中で踏み跡が消え、疎林の中を登っていくと鞍部に出た。鞍部からはテープがあり踏み跡も解りやすいが、帰路のためにテープングをして登って行った。

思っていた通り三角点に着いた、1時間30分。今日も快調に登れた。看板には「千谷山」と書いてあった。点名「上弓削」2等三角点良い山だ。帰路は往路をテープングして帰った。

【参加者】他1名



林道からの登山口



登山コース



登山コース



2等三角点

例会報告(まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2782	京都府山岳連盟 府民 新緑自然 観察会	晴れ	平成 30 年 5 月 20 日(日)	岡田茂久	担当者を含め、 参加者なし	別稿詳報
2783	京都府山岳連盟 京都府下一斉 清掃登山	晴れ	平成 30 年 6 月 3 日(日)	岡田茂久 方山宗子	清水康裕, 堀田 剛, 鷺見壽末子, 井戸澄夫	別稿詳報
2784	紀伊 法師山 (1等△1120.2)	曇り	平成 30 年 6 月 10 日(日)	井戸澄夫	他1名	別稿詳報

雑 報

△△△ 6月の集会

日 時 6月13日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 大倉, 岡田(茂), 岡本(義), 方山, 森本, 吉田, 和田, 清水 8名
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 5月の企画運営委員会

日 時 5月23日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 岡本(義), 方山, 吉田, 清水
内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

6月号 京都山岳, 趣味の登山, 比良山岳, 木雞
6・7月号 山友

△△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い, 部報の発送先, 発送方法に変更がある場合は, 必ず部報発送担当者(松田)まで連絡してください。
パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方はパソコンのメールアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

△△△ 平成30年度部費受領について

部費は年間3,000円です。また, 郵送希望の方は郵送料1,000円を足して年間4,000円です。
平成30年6月21日(木)現在, 先月号までに報告した方々に加え, 次の方から平成30年度部費を受領していましたので報告します。
(敬称略) 足立公弘, 廣瀬光太郎

《新入部員募集中》

平成30年7月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>